

平成27年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	鉄道施設総合安全対策事業 (鉄道施設老朽化対策事業)			担当部局庁	鉄道局		作成責任者		
事業開始年度	平成20年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	施設課		施設課長 江口 秀二		
会計区分	一般会計			政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 14 公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、 ハイジャック、航空機テロ防止を推進する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	インフラ長寿命化基本計画				
主要政策・施策				主要経費	公共事業				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	【鉄道施設老朽化対策事業】 地方鉄道の橋りょうやトンネルなど規模が大きい施設に対する、大規模かつ抜本的な補強・改良の促進を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	【鉄道施設老朽化対策事業】 地方鉄道の橋りょう、トンネル等であって、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の定める耐用年数(例:鉄筋コンクリート造のトンネルは60年、鉄筋コンクリート造の橋りょうは50年)を超えて使用しており、かつ「鉄道構造物等維持管理標準」等に基づく客観的評価により、老朽化の程度が著しいと認められる施設の補強・改良を行う第三セクターに対して、補助対象工事費の1/3(ただし地方公共団体の補助額以内)を予算の範囲内において補助する。								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	83	83	83	83	83	0	
	執行額	83	83	82					
執行率 (%)	100%	100%	99%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 年度	
	地域鉄道において、橋りょう、トンネル等の施設の老朽化を起因とした輸送障害又は鉄道運転事故を起こさない。	地域鉄道における、橋りょう、トンネル等の施設の老朽化を起因とした輸送障害又は鉄道運転事故件数。	成果実績	件	0	0	0		
			目標値	件	0	0	0		
			達成度	%	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	当該補助金を活用した事業を実施する箇所数	活動実績	箇所	1	1	1			
当初見込み		箇所	1	1	1	1			
単位当たり コスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	執行額/当該補助金を活用した事業を実施した箇所数	単位当たりコスト	百万円	83	83	82	83		
計算式		/		83/1	83/1	82/1	83/1		
平成27・28年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	鉄道施設総合安全対策事業費補助	83							
	計	83	0						

事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	橋りょうやトンネルなど規模が大きい施設について、老朽化が進行すると大規模な輸送障害や事故につながる事が懸念されている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	規模が大きいものについては事業者や地方公共団体のみでは抜本的な対策を実施することは困難である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)に位置付けられている。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	透明性の確保、適切な執行管理について確認している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	国、自治体、事業者で負担しており、妥当である。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	複数の工法について費用や効果を比較検討し、効率的な工法を選択している。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	工事内容が事業目的に必要なものであることを確認している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	鉄道施設の老朽化を起因とした輸送障害または鉄道運輸事故は発生しておらず、目標に見合ったものであるといえる。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	複数の工法について費用や効果を比較検討し、最も効率的な工法を選択することにより、コストの縮減に努めている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込みに見合った実績となっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	老朽化した施設を改良し、健全なものとなっており、鉄道の安全な運行を支えている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	鉄道施設安全対策事業は、耐用年数を超えて使用している又は老朽化が認められる施設に対して、単なる対症療法ではなく、長寿命化及びライフサイクルコストの低減を目的とした補強・改良を支援するものである。一方、当該事業は、耐用年数を超えて使用しており、かつ著しい老朽化が認められる施設に対して、大規模かつ抜本的な補強・改良を支援するものである。		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	国土交通省鉄道局	150	鉄道施設安全対策事業(鉄道施設の戦略的維持管理・更新の推進)			
点検・改善結果	点検結果	本事業は国庫補助事業であることから、事業着手から事業完了までの間において、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」及び「鉄道施設総合安全対策事業費補助交付要綱」等に基づき、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構職員による現地審査・書類審査を実施することにより、国庫補助金の支出先・用途等については、その適否を含めて明確に把握している。				
	改善の方向性	事業内容の見直しを検討し、より事業者のニーズに合った事業体系を構築する。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	279	平成23年度	256	平成24年度	264	
平成25年度	138	平成26年度	134			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
83百万円

国は、関係地方公共団体と連携して、本制度を活用すること等により、地方鉄道の老朽化対策の整備促進を図る。

【補助】



A
(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構
83百万円

関係地方公共団体

【補助】



【補助】



B
民鉄線既存線の改良整備・保有を業務とする地方公共団体の出資又は拠出に係る法人(1社)
83百万円

地方公共団体と国からの補助金及び民間鉄道事業者からの預託金を財源に、地域鉄道の老朽化対策を実施し、当該設備を保有し、民間鉄道事業者へ貸し付ける。

【補助】



C
民間鉄道事業者(1社)
83百万円

民間鉄道事業者は、民鉄線既存線の改良整備・保有を業務とする地方公共団体の出資、又は拠出に係る法人との協定等に基づき、同法人から工事の委託を受けて、老朽化対策工事を行い、工事完了後の設備について、同法人に引渡し、同法人より貸付けを受ける。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	老朽化対策工事費(トンネル補強等)	83			
計		83	計		0
B.伊豆東海岸鉄道整備(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	老朽化対策工事費(トンネル補強等)	83			
計		83	計		0
C.伊豆急行(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	老朽化対策工事費(トンネル補強等)	83			
計		83	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	補助対象事業者に対する補助金交付	83	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	伊豆東海岸鉄道整備(株)	老朽化対策工事費(トンネル補強等)	83	-	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	伊豆急行(株)	老朽化対策工事費(トンネル補強等)	83	-	-
支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載			<input type="checkbox"/> チェック		